

「子どもたちが元気に育ち 若い人や女性が笑顔で働き
お年寄りが安心して暮らせるまちづくり」を目指して！

平成 26 年度 6 月補正予算

平成 26 年度の当初予算は、2 月に市長選挙が執行されたことに伴い、経常的な経費や継続的な事業に係る予算を中心に計上した「骨格予算」として編成しています。

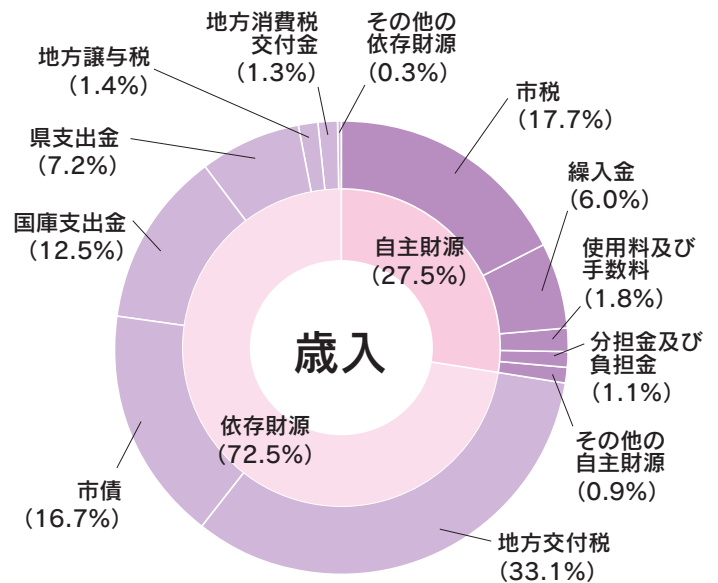
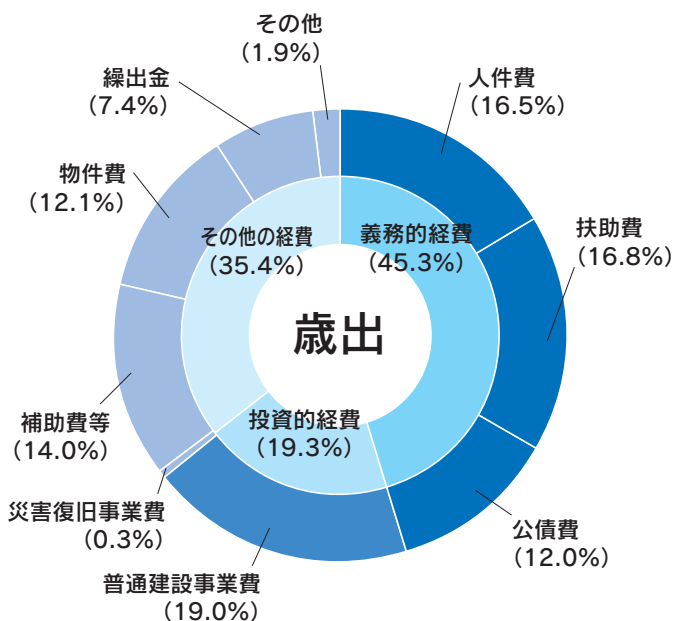
そこで、先月の第 2 回松浦市議会定例会に提出した 6 月補正予算では、政策的な経費や新規事業、マニフェスト事業などの経費を盛り込んだ「肉付け予算」として編成しました。

○問合せ先 総務課財政係 ☎内線314



◆ 補正後の一般会計予算額の内訳

一般会計の 6 月補正の予算額は 11 億 7,888 万 7 千円で、補正後（肉付け後）の予算総額は 181 億 588 万 7 千円となり、昨年度同期の予算額と比べ、19 億 6,006 万 2 千円（12.1%）の増となっています。



予算の骨と肉とは？

骨 + 肉 = 今年度の予算！

当初予算 6月補正

年度末や年度当初に首長選挙を控えた自治体が、必要最小限の経費を盛り込んで編成する予算を「骨格予算」といいます。これに対して、選挙後の補正予算で新首長の政策を反映させた予算を「肉付け予算」といいます。

6月補正予算の主な事業 —松浦市総合計画に掲げる3つのまちづくりの方向性に沿って紹介します—

I. 産業振興であらたな活力を生み出すまちづくり

新：新規事業 継：継続事業

新 漁港浮き桟橋整備事業 1億5,065万3千円

殿ノ浦～今福航路への小型船舶導入に伴う着岸施設としての浮き桟橋を整備します。

バリアフリー対応により利用者の安全性を確保し、既存のフェリーから小型の船舶に切り替えることで航行時間の短縮を図り、利便性の向上と経費の削減および離島住民唯一の公共交通機関の維持に努めます。

新 土谷棚田駐車場整備事業 1,518万6千円

水田の水張りから田植えの時期にかけて、多くのカメラマンや観光客が土谷棚田を訪れています。

しかしながら、棚田周辺には駐車スペースが少なく、観光客の足および路上駐車による周辺道路の通行に支障が生じていることから新たに駐車場を整備します。

土谷棚田の火祭りの開催時は、大型バスの乗降場所としても活用します。



新 地域特産品需要拡大支援事業 440万円

一般社団法人まつうら観光物産協会を事業主体として、松浦魚市場で水揚げされる寒サバを原料とした缶詰の製造（味噌煮、水煮など数種類を開発。製造個数は5,000個）と試験販売を行います。

新 福岡都市圏シティプロモーション事業 376万5千円

福岡事務所に福岡都市圏シティプロモーション推進員を設置。松浦の魅力を取り、内容を編集してメディアに発信することで、地域イメージのブランド化を図っていきます。

継 市道改良事業 5,522万5千円

通勤や通学など地域住民の日常生活を支える重要な役割を担う道路ながら、幅員が狭く通行に支障をきたしているなど早急な対応が必要な市道について改良を行い、地域の交通緩和と生活環境の整備を図ります。

II. 自然と人のぬくもりに囲まれた住みよいまちづくり

継 福島地区小中学校整備事業 3億106万1千円

福島地域の小中学校の施設は、市内の学校施設の中でも特に古く老朽化が進んでいます。耐震化を含め学校施設の安全確保を図りつつ、学校適正配置基本計画の対象施設でもあることから、児童生徒の教育環境改善に向けた整備を進めています。

今回の補正では、福島中学校のプール解体に伴う事業費および小学校の敷地造成工事などの費用を計上しています。



新 消防ポンプ自動車購入事業 5,296万9千円

鷹島地域の消防力の維持向上を図るため、鷹島出張所の水槽付き消防ポンプ自動車の更新を行い、少数職員での有効かつ効率的な消火活動が可能となることにより、さらなる地域の安全と安心の確保に努めます。

新 徘徊高齢者家族支援サービス事業 10万円

徘徊の恐れがある認知症高齢者を介護している家族に対して、当該高齢者の現在地を常に確認するための機器を貸与することで、事故などを未然に防止するとともに家族の精神的、身体的負担の軽減を図ります。

III. 市民と力を合わせてつくる活気あふれるまちづくり

継 元気なまちづくり活動支援事業 1,000万円

市民団体などの創意工夫によって、地域住民の自らが主体的に企画実施するまちづくり活動や地域おこし活動に対して補助金を交付し、地域コミュニティの活性化と特色あるまちづくりの推進を図ります。

●補助率 100%
(ただし、1事業あたり100万円以内)

継 市民協働まちづくり事業 1,000万円

地域や市民団体が市道などの局部改良や側溝整備などを実施する場合には、必要な資材や重機などの借り上げ、燃料費などの支給を行うことで、市民との連携を図りながら、予算の有効活用と効率的かつ効果的な事業を実施します。

